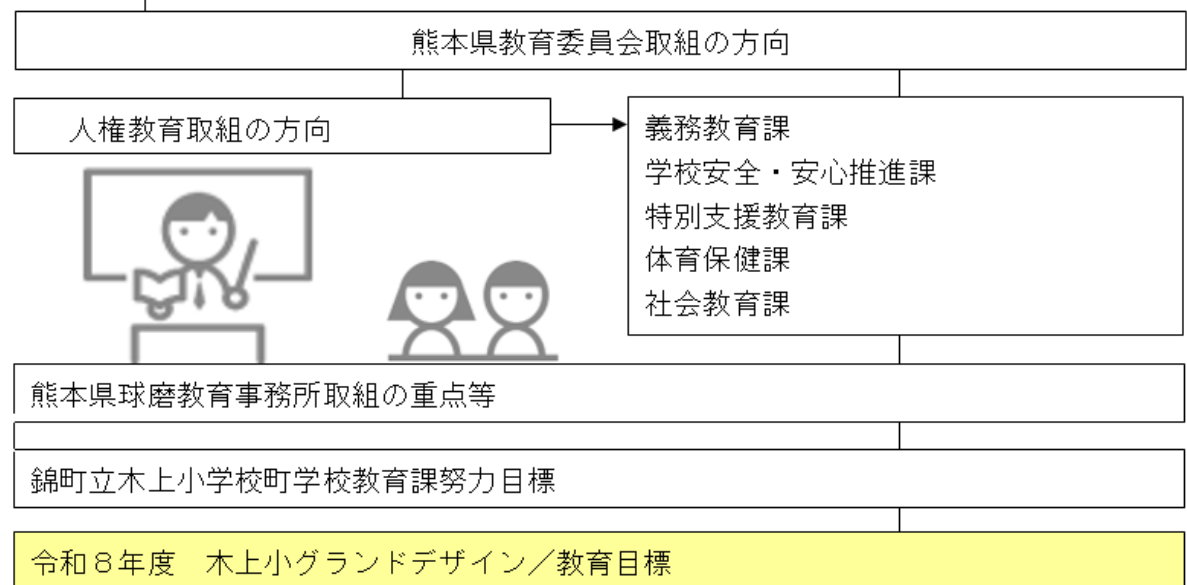


令和8年度（2026年度）

球磨教育事務所取組の重点における各重点努力事項の指標等一覧



- 1 確かな学力の育成
- 2 豊かな心の育成
- 3 健康な体の育成
- 4 人権教育の推進
- 5 インクルーシブ教育の推進
- 6 地域とともにある学校づくりと学校を核とした地域づくりの推進



上期・下期（通年）を通して意識して計画的に取り組むことが大切です。

R8 錦町立木上小学校版 振り返りシート

令和8年度(2026年度)球磨教育事務所取組の重点における各重点努力事項の指標等一覧 **確かな学力の育成**

第4期熊本県教育振興基本計画及び「熊本の学び」の理念に基づき、校長が総合的なマネジメント能力を発揮し、児童生徒一人一人が社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していく力を育むキャリア教育の視点に立った教育活動の充実を図る。

【4段階評価】 A:100%達成できた B:70%達成できた C:50%達成できた D:30%達成できた

※ 評価基準については、令和8年度(2026年度)球磨教育事務所取組の重点を参考に、各学校で設定する。

木上小学校
振り返り評価

重点努力事項(具体的実践事項)			指標 太文字・下線は、「最終評価」評価基準の目安	本校の現状	中間評価 4月～9月	最終評価 4月～1月
1-1	◎誰一人取り残さない学びの保障	・児童生徒が分かったと実感できる授業の構築 ・児童生徒が教科書を使いこなし、読み解く力を習得	■「授業の内容はよく分かる」(各教科において)と回答した児童の割合が R7年度を上回る 。【児童質問調査:※ 重点指標3 】			
	◎児童生徒が学びの主体となる授業の充実	・児童生徒が課題の解決に向け、自分で考え、自分から取り組む授業の充実 ・個別最適な学びと協働的な学びの充実に向けた、1人1台端末の効果的な活用	■「授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる」について、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した児童の割合が R7年度を上回る 。【児童質問調査:※ 重点指標1 】 ■「あなたは、単元の中で、児童生徒が、課題の解決に向けて、自分で考えたり、自分から取り組んだりする学習活動を設定していますか」について「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」と回答した教師の割合が R7年度を上回る 。【教師質問紙調査】			
1-2	◎教員が学びの主体となるための研修の推進	・管理職の総合的なマネジメント能力の発揮 ・個別最適な学びと協働的な学びの充実に向けた、1人1台端末の効果的な活用	■教員が自分の授業をよりよくしようと教材研究を行い、授業を公開して授業研究会等を行っている 教員の割合が8割以上 【取組の振り返り】			
1-3	◎グローバル人材の育成に向けた取組の推進	・英語で自分の考えや気持ちを伝えることができる児童の育成 ・学習者用デジタル教科書等の効果的活用及び言語活動を通した指導の充実	■英語が「好き」「分かる」と回答した小中学生の割合が R7年度を上回る 令和7年度結果(球磨管内) 【好き】小3(84.2%) 小4(78.6%) 小5(74.9%) 小6(68.6%) 【分かる】小5(82.5%) 小6(78.6%)【児童質問紙調査】			
1-4	◎キャリア教育の充実	・キャリア・パスポート等を活用した進路指導の充実	■大人(保護者や教師)が対話的に関わっている(コメントの記入や教育相談等)キャリア・パスポートを活用している学校の割合が R7年度を上回る 【キャリア教育推進状況調査】【取組の振り返り】			

校長室に拡大掲示します。取組の進捗や結果は、その都度QRコードにして添付していきます。

令和8年度(2026年度)球磨教育事務所取組の重点における各重点努力事項の指標等一覧 **豊かな心の育成**

第4期熊本県教育振興基本計画及び「熊本の学び」の理念に基づき、校長が総合的なマネジメント能力を発揮し、児童生徒一人一人が社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していく力を育むキャリア教育の視点に立った教育活動の充実を図る。

【4段階評価】 A:100%達成できた B:70%達成できた C:50%達成できた D:30%達成できた

※ 評価基準については、令和8年度(2026年度)球磨教育事務所取組の重点を参考に、各学校で設定する。

木上小学校
振り返り評価

重点努力事項(具体的実践事項)			指標 太文字・下線は、「最終評価」評価基準の目安	本校の現状	中間評価 4月～9月	最終評価 4月～1月
2-1	○道徳科の授業を要とした道徳教育の推進	・「道徳科授業力向上手引書・リーフレット」等を活用した校内研修の実施 ・「熊本の心」及び「つなぐ～熊本の明日へ～」等を活用した授業の公開及び家庭や地域への啓発	■地域や保護者に「熊本の心」又は「つなぐ～熊本の明日へ～」等を取り扱った道徳科の授業を、 全ての学級で公開する 【取組の振り返り】			
2-2	◎不登校の未然防止と継続した支援	・校内不登校対策組織の機能の明確化及び充実 ・不登校対策重点取組事項に基づく、不登校児童生徒支援の充実 ・「愛の1・2・3運動+1」(間接的な支援を含む)及び欠席10日目を目安とした学校内外の専門機関と連携した早期対応	■不登校児童数及び出現率が R7年度を下回る 令和7年度結果(球磨管内) 不登校児童数 小64人 出現率 小1.72%【令和8年度定例報告】 ■令和8年度の不登校児童に対する学校内外の専門機関の活用率が R7年度を上回る 令和7年度結果(球磨管内) 小95.8%【令和8年度定例報告】			
2-3	◎いじめの未然防止と確実な対応	・いじめに向かわない態度・能力を育む教育の推進 ・校内いじめ対策組織等を中心としたいじめの早期把握及び相談体制の充実 ・いじめの定義及びいじめ重大事態に対する正しい認識	■いじめの「認知率」が R7年度を上回る ①「いじめられたことがある」と回答した児童生徒数令和7年度結果(球磨管内) 小412人【熊本県公立学校心のアンケート】 ②いじめの認知件数 令和7年度結果(球磨管内) 小66件、中38件【令和7年度3月定例報告】 ③いじめの「認知率」の算出方法②÷①×100 令和7年度結果(球磨管内) 小16.0%、中62.3%【心のアンケート及び定例報告】 ■「どんな理由があってもいじめはいけないと思う」と回答した児童生徒の割合が R7年を上回る 。 令和7年度結果(球磨管内) 小87.5%心のアンケート】			

校長室に拡大掲示します。取組の進捗や結果は、その都度QRコードにして添付していきます。

令和8年度(2026年度)球磨教育事務所取組の重点における各重点努力事項の指標等一覧 **健康な体の育成**

第4期熊本県教育振興基本計画及び「熊本の学び」の理念に基づき、校長が総合的なマネジメント能力を発揮し、児童生徒一人一人が社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していく力を育むキャリア教育の視点に立った教育活動の充実を図る。

【4段階評価】 A:100%達成できた B:70%達成できた C:50%達成できた D:30%達成できた

※ 評価基準については、令和8年度(2026年度)球磨教育事務所取組の重点を参考に、各学校で設定する。

木上小学校
振り返り評価

重点努力事項(具体的実践事項)			指標 太文字・下線は、「最終評価」評価基準の目安	本校の現状	中間評価 4月～9月	最終評価 4月～1月
3-1	○運動やスポーツに対する意識等に応じた授業の充実及び体力向上の取組の推進	・「1学校1チャレンジ」取組の推進	■令和8年度(2026年度)全国体力・運動能力、運動習慣等調査報告書結果から「運動やスポーツをすることが好き、やや好き」と回答した児童生徒の割合において、 <u>R7年度を上回る</u>			
		・適正な部活動及び地域等との連携によるスポーツ活動の充実	■各市町村教育委員会と各学校が連携を図り、保護者等の関係者に 地域展開の今後の方向性を説明している			
3-2	○健康教育の充実	・未処置歯保有者への対応等を含めた歯科保健指導の推進	■未処置歯保有率について、 <u>R7年度を下回る【健康診断集計表】</u>			
		・アレルギー対応等の健康課題の解決に向けた組織的対応の充実	■関係機関への連絡等、緊急時の対応を想定した実習等を含む 実践的な訓練を確実に実施している【健康教育実態調査】			
3-3	○安全教育及び安全管理の充実	・事前・発生時・事後の三段階に応じた危機管理の充実	■危機管理マニュアルの見直しや点検を学校関係者等で 確実にやっている【取組の振り返り】			
		・学校防災体制の整備及び防災教育の充実	■児童生徒等を対象に落雷事故防止教育を 確実に実施している【学校安全調査】			
		・道路交通法の改正を踏まえた交通安全教育の充実	■交通安全教室の指導内容において、「自転車安全利用五則」の指導を 確実に活用している。【学校安全調査】			

校長室に拡大掲示します。取組の進捗や結果は、その都度QRコードにして添付していきます。

令和8年度(2026年度)球磨教育事務所取組の重点における各重点努力事項の指標等一覧 人権教育の充実

第4期熊本県教育振興基本計画及び「熊本の学び」の理念に基づき、校長が総合的なマネジメント能力を発揮し、児童生徒一人一人が社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していく力を育むキャリア教育の視点に立った教育活動の充実を図る。

【4段階評価】 A:100%達成できた B:70%達成できた C:50%達成できた D:30%達成できた

※ 評価基準については、令和8年度(2026年度)球磨教育事務所取組の重点を参考に、各学校で設定する。

木上小学校
振り返り評価

重点努力事項(具体的実践事項)			指標 太文字・下線は、「最終評価」評価基準の目安	本校の現状	中間評価 4月～9月	最終評価 4月～1月
4-1	○推進体制の機能強化と計画的な研修の実施	・校長のリーダーシップの下、人権教育主任を中心とした効果的な役割分担による組織的な人権教育の実施	■「人権尊重の精神に立った学校づくり」に向けて、学校のリーダーシップを発揮し、効果的な役割分担により、人権教育を組織的に推進している【人権教育推進状況調査】			
		・部落差別(同和問題)をはじめとする様々な人権問題についての基本的認識を深め、実践的な指導力を高める計画的な研修の推進	■学習内容について、校内推進委員会や部会等で検討したり、学習後の理解状況を把握したりする等の継続的な取組を確実に実施している【人権教育推進状況調査】			
4-2	○指導方法等の工夫・改善	・『実践行動につなぐ』授業へのアプローチ等を活用した発達段階に応じた指導方法等の工夫・改善	■「熊本県部落差別の解消の推進に関する条例」啓発チラシ、個別的な人権課題に関する「デジタル研修資料」及びパンフレット『実践行動につなぐ』授業への3つのアプローチについて、確実に活用している【人権教育推進状況調査】 ■[第三次とりまとめ]に示された理論と実践に関する教職員研修を確実に実施している【取組の振り返り】			
		・「人権教育の指導方法等の在り方について[第三次とりまとめ]」や人権教育推進資料等の活用				
		・人権学習の公開等、保護者や地域に向けた人権教育に関する取組の積極的な情報発信と啓発の充実				

校長室に拡大掲示します。取組の進捗や結果は、その都度QRコードにして添付していきます。

令和8年度(2026年度)球磨教育事務所取組の重点における各重点努力事項の指標等一覧 インクルーシブ教育の推進

第4期熊本県教育振興基本計画及び「熊本の学び」の理念に基づき、校長が総合的なマネジメント能力を発揮し、児童生徒一人一人が社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していく力を育むキャリア教育の視点に立った教育活動の充実を図る。

【4段階評価】 A:100%達成できた B:70%達成できた C:50%達成できた D:30%達成できた

※ 評価基準については、令和8年度(2026年度)球磨教育事務所取組の重点を参考に、各学校で設定する。

木上小学校
振り返り評価

重点努力事項(具体的実践事項)			指標 太文字・下線は、「最終評価」評価基準の目安	本校の現状	中間評価 4月～9月	最終評価 4月～1月
5-1	◎自立と社会参加を見据えた指導・支援の徹底	・ユニバーサルデザインや合理的配慮の提供を前提とする分かりやすい授業づくりの推進	■ユニバーサルデザインや合理的配慮の提供を前提とする分かりやすい授業づくりを 全学級で実施 ※ 分かりやすい授業が実施 した割合:小・中・義務教育学校100% 【取組の振り返り】			
		・児童生徒一人一人の教育的ニーズ、希望進路及び実態を把握し、適切な指導や必要な支援を組織的に行うための校内支援体制の充実				
5-2	◎児童生徒の可能性を伸ばすことができる適切な特別の教育課程の編成	・個別の指導計画に基づく自立活動の充実	■児童一人一人教育的ニーズに応じた 個別の指導計画に基づいた自立活動の確実な実施 ※ 児童の一人一人の支援に対応した自立活動を展開できている 割合:小・中・義務教育学校100%【取組の振り返り】			
		・活動の意義やねらいを明確にした計画的・継続的な交流及び共同学習の実施				
5-3	◎関係機関との連携強化による切れ目ない支援の充実	・「段階的な支援体制」に基づいた関係機関との連携強化及び学びの場の適正化	■支援体制の充実を図るための 巡回相談を年間1回以上活用 ※学校で巡回相談を活用した割合:小・中・義務教育学校100% 【取組の振り返り】			
		・「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」の確実な作成・活用・引継ぎによる適切な指導及び必要な支援、合理的配慮の提供				

校長室に拡大掲示します。取組の進捗や結果は、その都度QRコードにして添付していきます。

令和8年度(2026年度)球磨教育事務所取組の重点における各重点努力事項の指標等一覧 地域とともにある学校づくりと学校を核とした地域づくりの推進

第4期熊本県教育振興基本計画及び「熊本の学び」の理念に基づき、校長が総合的なマネジメント能力を発揮し、児童生徒一人一人が社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していく力を育むキャリア教育の視点に立った教育活動の充実を図る。

【4段階評価】 A:100%達成できた B:70%達成できた C:50%達成できた D:30%達成できた

※ 評価基準については、令和8年度(2026年度)球磨教育事務所取組の重点を参考に、各学校で設定する。

木上小学校
振り返り評価

重点努力事項(具体的実践事項)			指標 太文字・下線は、「最終評価」評価基準の目安	本校の現状	中間評価 4月～9月	最終評価 4月～1月
6-1	○信頼される学校づくりの推進	・同僚性を高め、不祥事を決して起こさないという職場の雰囲気づくりと不祥事防止研修の一層の充実	■教職員の 不祥事の発生件数を「0」とする			
6-2	○社会に開かれた教育課程	・五者連携によるコミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な推進	■コミュニティ・スクールにおいて、地域学校協働活動の 仕組み及び取組を周知している 【取組の振り返り】			
6-3	○地域学校協働活動の推進	・高校生等を含む幅広い地域人材の参画による放課後子供教室及び地域未来塾等の子供たちの居場所づくりや学びを支える教育活動の充実	■地域学校協働活動推進員等の学校運営協議会への参加について、 R7年度を上回る 【取組の振り返り】 ■地域学校協働本部を中心とした高校生を含む 幅広い地域人材の参画による教育活動を実施している 【取組の振り返り】			
6-4	○家庭教育支援の充実	・学校・園等における多様な機会を通じた「親の学び」講座の効果的な実施と適切な情報発信	■くまもと「親の学び」プログラム(次世代編を含む)を多様な機会を通じて、 確実に実施している 【「親の学び」講座の実施状況】			
6-5	○就学前教育と義務教育の円滑な接続及び連携の充実	・「幼児期の終わりから小学校入学への『円滑な接続』に向けたくまもとスタンダード(改訂版)」の活用等による架け橋期の教育の充実 ・架け橋期のカリキュラムの作成及び活用へ向けた取組の充実	■円滑な接続のために、全ての小学校において、スタートカリキュラムを関係園に配付し、確実な連携を図っている【取組の振り返り】 ■全ての市町村教育員会及び小学校において、架け橋期のカリキュラムを作成し、 確実に活用している 【取組の振り返り】			

校長室に拡大掲示します。取組の進捗や結果は、その都度QRコードにして添付していきます。